

# 2023年度環境経営レポート

対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日



“すべては安心と楽しさのために”



〈東京・山梨スバルグループ〉

東京地区：東京スバル株式会社

山梨地区：山梨スバル自動車株式会社

発行日：2024年8月30日

# 目次

1. 組織の概要	・・・	3
2. 対象範囲（事業所一覧・推進体制・役割・責任及び権限）	・・・	5
3. 環境経営方針	・・・	8
4. 環境経営目標（中期計画、環境負荷の実績状況）	・・・	9
5. 環境経営計画の取組内容、行動評価	・・・	11
6. 環境経営計画の取組結果、次年度の取組内容	・・・	12
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	・・・	13
8. 代表者による全体の評価(振り返り)と見直し(総括的指示事項)	・・・	14
9. ライフセーバーカー支援、東京スバルRacingTeamのご紹介	・・・	15

## 東京・山梨スバルグループは、2030年に向けた「持続可能な未来」への開発目標SDGs（Sustainable Development Goals）の達成に貢献していきます。

### 東京スバルSDGs宣言



### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

東京スバルは、SUBARU車の販売とサービス業務を通じて企業としての社会的責任を果たし、社会から信頼される企業として「選ばれ続ける会社」を目指します。  
ステークホルダーであるお客様・従業員・地域社会に対して「東京スバルCSR重点6項目」の取り組みを推進し、ありたい姿を明確にする中で、2030年に向けた「持続可能な未来」への開発目標SDGs（Sustainable Development Goals）の達成に貢献していきます。

#### 東京スバルCSR重点6項目



#### 東京スバルホームページ

URL <https://www.tokyo-subaru.co.jp/>

#### 山梨スバルホームページ

URL <https://www.yamanashi-subaru.co.jp/>

### 山梨スバル自動車SDGs宣言



### 山梨スバル SDGs 宣言

私たち山梨スバルは、SUBARU車の販売・アフターサービスなどの事業活動を通じ、お客様に「安心と楽しさ」のあるカーライフを提供することで皆様から信頼される企業となります。また、従業員及び従業員の家族の方からも愛され続ける企業を目指すことで持続可能な社会の実現に向け努めてまいります。

#### 重点取組項目

1. SUBARU先進技術と歩む未来  
(2030年交通死亡事故ゼロ)



2. 地球を守るための環境保全活動  
(エコアクション21)



3. 働く環境・人材育成・あらゆる  
ステークホルダーとの関係を強化  
するスバル認定資格取得者の増加  
(高品質な物やサービスの安定供給)



山梨スバル自動車株式会社

# 1. 組織の概要

## [東京地区]

会社名 東京スバル株式会社

所在地 東京都文京区本郷 2 - 1 3 - 1 1

代表者氏名 佐藤 洋一

設立日 1999年10月1日

- 事業内容
1. 自動車の販売
  2. 中古自動車の販売
  3. 前各号に関する部品・用品の販売および修理
  4. 自動車の修理
  5. 損害保険代理業および自動車損害賠償保険代理業



事業規模	・売上高	62,841百万円	(2023年度)
	・新車販売台数	11,705台	(2023年度)
	・中古車販売台数	8,614台	(2023年度)
	・従業員数(派遣・パート等含む)	1,129名	(2024年3月現在)
	・店舗数	新車直販：32 中古車直販：6 B Pファクトリー：3 重整備センター：1	新車業販：4 中古車業販：1 パーツセンター：1

### 《EA21責任者 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先》

環境管理責任者 取締役サポートユニット長 岡部 三裕

事務局長 総務人事部部長 森分 昭男

担当者 総務人事部OM推進課 川田 一人

連絡先 電話03-3816-8123

FAX03-3816-8144

URL: <http://www.tokyo-subaru.co.jp/>

# 1. 組織の概要

## [山梨地区]

会社名 山梨スバル自動車株式会社

所在地 山梨県甲府市富士見1-4-30

代表者氏名 森田 司

設立日 1986年3月1日

- 事業内容
1. 自動車の販売
  2. 中古自動車の販売
  3. 前各号に関する部品・用品の販売および修理
  4. 自動車の修理
  5. 損害保険代理業および自動車損害賠償保険代理業



事業規模・売上高	3, 2 2 3百万円	(2023年度)
・新車販売台数	6 2 1台	(2023年度)
・中古車販売台数	5 2 4台	(2023年度)
・従業員数(派遣・パート等含む)	7 2名	(2024年3月現在)
・店舗数	新車直販: 3	
	新車業販: 1	
	中古車直販(業販): 1	

### 《EA21責任者 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先》

統括責任者 代表取締役社長 森田 司

実行責任者 サービス部品部サービス部長 今村 友紀

連絡先 電話055-253-3060

FAX055-253-2872

U R L : <https://www.yamanashi-subaru.co.jp/>

## 2. 対象範囲（事業所一覧・推進体制・役割・責任及び権限）

### (1) 事業所一覧

認証登録対象店舗一覧

文書番号: EMS-TK003

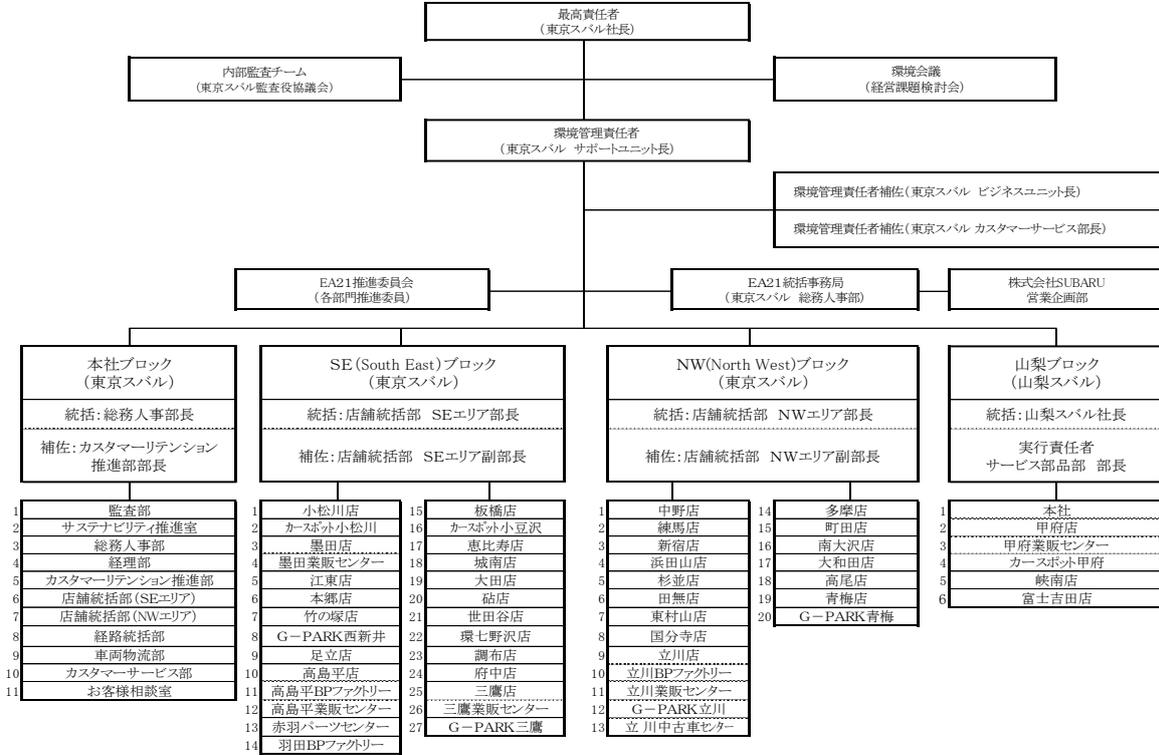
2023年4月1日現在

ブロック	事業所名	郵便番号	住所	連絡先	電話番号	FAX番号	面積(m <sup>2</sup> )		工場 資格	組織区分	
							敷地	延床			
S E E リ ア	1 本社	113-8471	東京都文京区本郷2-13-11	森分 昭男	03-3816-8123	03-3816-8144	1109.3	2548.9	-	A	
	2 小松川店	132-0021	東京都江戸川区中央4-22-19	四方 智之	03-3654-1151	03-3654-1157	1949.3	2626.8	指定	C	
	3 カースポット小松川	132-0021	東京都江戸川区中央3-6-5	埤 真悟	03-3654-3254	03-5607-6440	1322.3	118.7	-	B	
	4 墨田店 墨田業販センター	131-0032	東京都墨田区東向島5-1-16	樋口 和弘	03-3619-4826 03-3613-7125	03-3619-7980 03-3617-4950	2318.3	2494.2	指定 -	C	
	5 江東店	135-0016	東京都江東区東陽5-31-23	酒寄 晃	03-3645-3356	03-3645-7138	1126.6	2722.3	指定	C	
	6 本郷店	113-8471	東京都文京区本郷2-13-11	齋藤 正士	03-3816-4171	03-3815-2090	本社併設	4133.5	指定	C	
	7 竹の塚店	121-0813	東京都足立区六月1-24-19	堀 文嘉	03-3860-8255	03-3860-9945	1884.1	2636.3	指定	A	
	8 G-PARK西新井	121-0824	東京都足立区西伊興1-17-8	安藤 一久	03-3856-2300	03-3856-2341	1458.2	566.3	認証	C	
	9 足立店	123-0864	東京都足立区鹿浜1-9-16	羽深 勝志	03-3899-1710	03-3899-8010	2343.8	1023.5	指定	C	
	10 赤羽パーツセンター	115-0052	東京都北区赤羽北1-22-8	岡田 哲夫	03-5993-2011	03-5993-1100	2027.4	4035.4	-	A	
	11 高島平店 高島平BPPファクトリー 高島平業販センター	174-0043	東京都板橋区坂下2-29-13	丸山 雅美	03-3966-3271 03-3966-3222 03-6811-6006	03-3967-5186 03-3966-3215 03-6811-6007	3005.5 0.0 0.0	3015.4 0.0 0.0	指定 - -	D	
	12 板橋店	174-0072	東京都板橋区南常盤台1-9-5	小林 正和	03-3972-1555	03-3972-1589	940.5	630.1	指定	C	
	13 カースポット小豆沢	174-0051	東京都板橋区小豆沢1-18-8	岩橋 太一朗	03-5392-2733	03-5392-2750	1906.1	1010.9	認証	C	
	14 恵比寿店	150-0013	東京都渋谷区恵比寿1-20-8	江連 孝一	03-6447-7581	03-3447-1470	465.2	803.0	指定	C	
	15 城南店	142-0051	東京都品川区平塚2-6-13	市川 穂	03-3786-0311	03-3786-8940	258.5	927.6	指定	C	
	16 大田店	146-0093	東京都大田区矢口3-8-11	星野 正樹	03-3757-4501	03-3757-4508	1656.5	2839.9	指定	C	
	17 砧店	157-0073	東京都世田谷区砧2-11-2	石崎 邦記	03-3749-7431	03-3749-7443	409.9	909.1	-	C	
	18 世田谷店	156-0053	東京都世田谷区桜3-7-17	須永 良一	03-3428-7211	03-3426-5611	1220.9	2959.0	指定	C	
	19 環七野沢店	154-0003	東京都世田谷区野沢3-40-1	諸橋 邦雄	03-6805-5030	03-3487-7551	1227.7	1896.5	指定	C	
	20 羽田BPPファクトリー	144-0033	東京都大田区東糀谷5-1-12	河野 邦一	03-3742-1171	03-3742-1178	800.7	1676.7	認証	F	
	21 調布店	182-0015	東京都調布市八雲台1-10-2	石崎 裕一	042-485-1100	042-485-1130	2102.2	1813.6	指定	C	
	22 府中店	183-0011	東京都府中市白糸台1-54	渡邊 順也	042-365-2111	042-365-1398	2468.7	2873.8	指定	C	
	23 三鷹店 三鷹業販センター	181-0015	東京都三鷹市大沢3-9-6	近藤 太郎	0422-32-3181 0422-26-3010	0422-32-3185 0422-32-3195	8638.1 0.0	7685.5 0.0	指定 -	C	
	24 G-PARK三鷹	181-0015	東京都三鷹市大沢3-9-1	加藤 義則	0422-26-0222	0422-26-0224	6371.3	172.2	-	B	
N W E リ ア	25 中野店	165-0023	東京都中野区江原町3-5-3	中村 祐紀	03-3953-0131	03-3953-0135	1180.8	908.4	指定	C	
	26 練馬店	177-0032	東京都練馬区谷原2-1-29	小夏 隆博	03-3996-0601	03-3996-0606	1645.3	794.1	指定	C	
	27 新宿店	160-0023	東京都新宿区西新宿4-38-7	林 大介	03-3376-5161	03-3376-5166	409.9	1053.9	指定	C	
	28 浜田山店	168-0065	東京都杉並区浜田山4-15-3	小笠原 正則	03-3312-6361	03-3315-8663	1568.9	1778.9	指定	C	
	29 杉並店	167-0034	東京都杉並区桃井4-5-6	木村 知誠	03-6811-6001	03-3399-0860	752.4	1852.6	指定	C	
	30 田無店	188-0011	東京都西東京市田無町1-2-10	野口 亮吉	042-462-6791	042-462-6730	2125.8	2396.9	指定	C	
	31 東村山店	189-0002	東京都東村山市青葉町3-2-1	伊藤 賀彦	042-397-8581	042-397-8691	2029.8	1757.4	指定	C	
	32 国分寺店	185-0001	東京都国分寺市北町1-1-10	吉川 泰史	042-322-3615	042-325-5543	4069.1	1070.1	指定	C	
	33 立川店(含カスタイズ課) 立川業販センター G-PARK立川 立川中古車センター 立川BPPファクトリー	190-0013	東京都立川市富士見町7-37-25	島崎 隆紀	042-524-1301 042-521-1951 042-522-0235 042-522-0231 042-524-1303	042-524-1305 042-521-1955 042-522-0236 042-522-0230 042-524-1337	10905.5	13663.4	指定 - - -	D	
	34 多摩店	206-0011	東京都多摩市関戸6-4-20	龍崎 勝也	042-337-1141	042-337-1144	1686.0	519.3	指定	C	
	35 町田店	194-0023	東京都町田市旭町2-14-11	篠原 宗司	042-722-0211	042-722-0216	2844.3	1458.8	指定	C	
	36 南大沢店	192-0362	東京都八王子市松木73-9	高橋 章	042-675-8111	042-675-8666	2457.9	493.9	指定	C	
	37 大和田店	192-0045	東京都八王子市大和田町2-16-24	山野井 琢也	042-642-7730	042-642-2811	1963.9	2150.8	指定	C	
	38 高尾店	193-0941	東京都八王子市狭間町1455-8	佐藤 和寿	042-666-7111	042-666-7118	1950.8	697.2	指定	C	
	39 青梅店 G-PARK青梅	198-0024	東京都青梅市新町9-2010	鹿島 竜二	0428-32-1117 0428-32-2531	0428-32-1118 0428-32-2721	5849.6	1406.1	指定 -	C	
	山 梨 ブ ロ ッ ク	41 本社 甲府店 甲府業販センター カースポット甲府	400-0027	山梨県甲府市富士見1-4-30	今村 友紀	055-253-3060 055-253-2813 055-253-3060 055-251-7001	055-253-2872 055-253-5513 055-253-2872 055-253-2873	9,553.7	2,267.8	- 指定 - -	A C B B
		42 峡南店	400-0412	山梨県南アルプス市東南湖字横川885	高橋 俊晴	055-282-4020	055-282-4048	1,355.4	925.6	指定	C
43 富士吉田店		401-0301	山梨県市郡都富士河口湖町船津6683-90	川口 敏彦	0555-30-0200	0555-30-0044	1,573.6	952.1	指定	C	

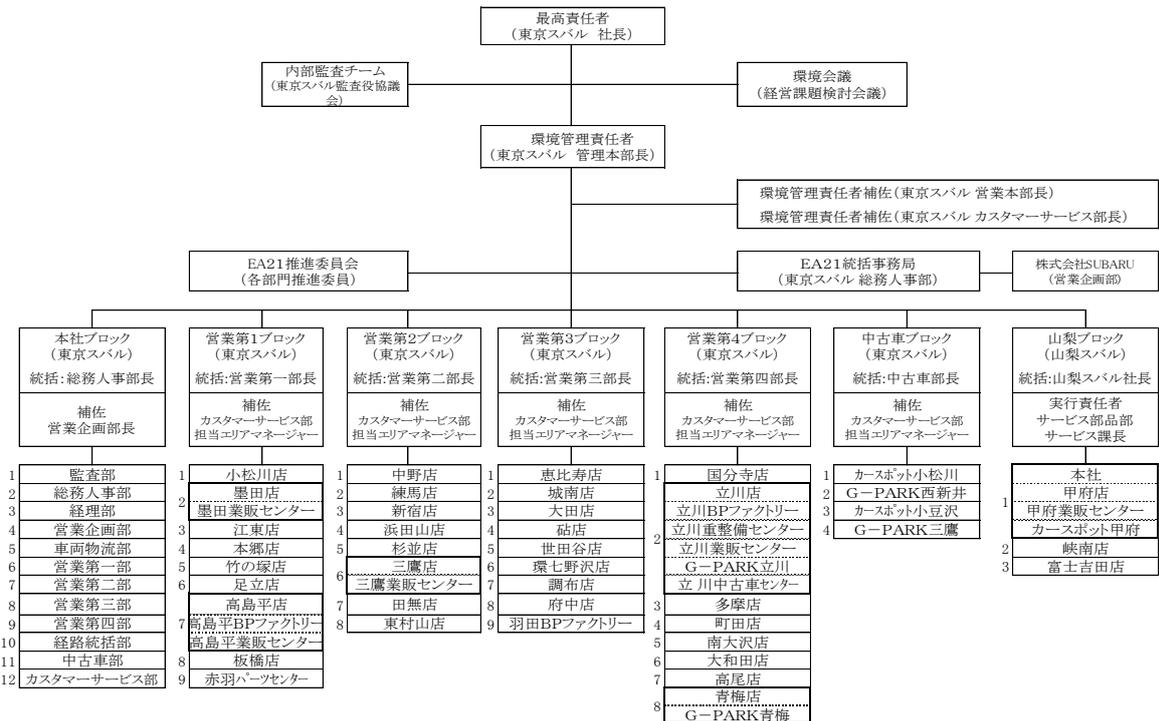
## 2. 対象範囲（事業所一覧・推進体制・役割・責任及び権限）

### (2) 推進体制

2023年度 対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日



2024年度は推進体制を改定 ※改定日：2024年5月1日～



## 2. 対象範囲（事業所一覧・推進体制・役割・責任及び権限）

### （3）役割・責任及び権限

担当者、会議体	役割、責任及び権限
社長 (代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントシステム（EMS）執行の最高責任者</li> <li>環境経営方針を定める。また必要に応じ見直す</li> <li>経営における課題とチャンスを整理し、明確にする</li> <li>明確化に当たっては事業内容、事業を取り巻く状況、事業と環境との関わりを考慮する</li> <li>EMSの見直し（マネジメントレビュー）を行う</li> <li>要員（人材）、設備、資金等の資源を経営上対応可能な範囲で用意する</li> <li>環境管理責任者を任命する</li> </ul>
環境管理責任者 (サポートユニット長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業の業務とは関わりなく、EMSを確立・実施・維持する責任と権限を有する</li> <li>環境経営方針に沿って全社環境経営目標（中期と単年度）を策定する</li> <li>「環境関連法規等順守状況チェック結果」を作成し、最新状態を維持する</li> <li>緊急事態の訓練を計画し推進する（実施は該当する各店舗）</li> <li>環境に関する行政機関対応の責任者（法規制対応も含む）</li> <li>マネジメントレビューの報告情報を取り纏め報告する</li> <li>環境に係わる教育訓練を推進する</li> <li>外部からの環境苦情対応の責任者</li> </ul>
EA21統括事務局 (事務局長：総務人事部長) ・総務人事部 ・山梨実行責任者含む	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を補佐し、EMSの確立・実施・維持全般に関する事務局業務を行う</li> <li>環境マニュアル・手順書・帳票等の見直し、最新版管理</li> <li>各部門、各店舗との調整、情報の伝達</li> <li>全社EMSの進捗管理、審査対応窓口（外部との調整を含む）</li> <li>マネジメントレビューの情報収集・整理</li> <li>株式会社S U B A R U環境担当部署との窓口</li> </ul>
ブロック長 (店舗統括部長) ※山梨ブロックは山梨スバル社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業の業務とは関わりなく担当店舗のEMS確立・実施状況を確認し目標達成の責任と権限を有する</li> <li>店舗巡回時において、各店舗の目標進捗具合、取組状況、コンプライアンス等を確認する</li> </ul>
店舗責任者 (店長) ※併設店舗では直販店長	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業の業務とは関わりなく、EMSを確立・実施・維持し目標達成の責任と権限を有する</li> <li>環境マニュアル、手順書、帳票等の文書を管理する</li> <li>緊急事態を想定し訓練を計画し実行する</li> <li>特定業務従事者（サービス課長）と共に環境関連法規制を把握し、コンプライアンスに努める</li> </ul>
特定業務従事者 (サービス課長、钣金課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗に関わる環境関連法規制を把握し、法遵守に努める</li> <li>緊急事態を想定し訓練を計画し実行する（訓練レベルは最悪の状況を想定する）</li> <li>廃油が流出した場合を想定した訓練を行う</li> </ul>
内部監査員 (店長、サービス課長、钣金課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>E A 2 1 ガイドラインの適合性と有効性の確認、目標の達成状況や評価、是正処置等の確認も行い、店舗のPDCAが回っているかを視点に置き、他店舗の監査を実施し、問題点等指導に努め、優れている取組みがある場合は自店舗へ展開する</li> </ul>
店舗推進委員 ・チーフメカニック ・環境マイスター認定取得者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗責任者を補佐し、自部署の環境活動を指導し推進する</li> <li>必要な場合は、店舗推進委員の元に補助者を置くことが出来る</li> </ul>
一般従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動の重要性を自覚し、必要な環境教育訓練を受け、環境経営方針・環境経営目標・環境活動実施計画書に基づいて、日常の環境活動に取り組む</li> </ul>
マネジメントレビュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催者：社長</li> <li>構成員：社長、ビジネスユニット長、サポートユニット長(環境管理責任者)、常勤監査役、総務人事部長(事務局長)</li> <li>目的：EMSを規定した通り適切に運用しているか、有効に機能しているか、目標の達成状況、問題点の明確化と改善の方向を示す</li> <li>開催頻度：経営会議の場を利用して行う 1回/年(年度毎)</li> <li>記録の有無：記録を残す（「マネジメントレビュー議事録」）</li> </ul>
経営課題検討会 (環境に関わる事項についてのみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催者：社長</li> <li>構成員：社長、ビジネスユニット長、サポートユニット長(環境管理責任者)、常勤監査役、その他経営課題検討会メンバー</li> <li>目的：環境活動に関する重要な課題がある場合には、経営会議内で議論する</li> <li>開催頻度：不定期（環境に関する重要な課題が発生した場合）</li> <li>記録の有無：記録を残す</li> </ul>
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催者：環境管理責任者（総務人事部長）</li> <li>構成員：環境管理責任者、統括事務局、各店舗推進委員</li> <li>目的：環境活動の推進、情報伝達、意見交換等</li> <li>開催頻度：随時</li> <li>記録：記録を残す（統括事務局作成）</li> </ul>

## 3. 環境経営方針

東京・山梨スバルグループ



### 環境経営方針

#### 《基本理念》

東京スバル株式会社および山梨スバル自動車株式会社を含めた東京・山梨スバルグループは、事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響のことを常に考え、全社員が自主的に業務の効率化に向けた行動により、地球環境への負荷を低減し、地球に優しい環境が持続出来るように経営のあらゆる面で環境に配慮して行動します。

#### 《基本方針》

この理念のもと、当社が行なう自動車及び部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 全社の全部門において、業務の改善・効率化を図り、省エネルギー（CO2削減含）、省資源、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行ないます。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境経営目標への達成に向けた取組み（環境マネジメントシステム）と環境経営目標への実績（環境パフォーマンス）の評価・見直しを継続的に推進します。
3. 適用する環境関連法規制・条例を良く理解し、その他当社が同意する要求事項を遵守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境経営目標を設定し取組み、必要に応じて改善を行ないます。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減
  - ② 廃棄物排出量の削減
  - ③ 水使用量の削減
  - ④ 化学物質使用量の削減
  - ⑤ 当社が販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善
5. この環境経営方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

制定日 2008年 7月1日

改定日 2022年 4月1日

エコアクション21

東京・山梨スバルグループ

東京スバル株式会社

代表取締役社長 佐藤 洋一

## 4. 環境経営目標（中期計画、環境負荷の実績状況）

当社は日常業務において使用する環境への負荷が大きいと考えられるエネルギーの把握をし、取りまとめ、削減活動に重点をおくと同時に省資源（リサイクル・再資源化への推進）を考えて積極的に行います。

二酸化炭素排出量削減に取組む項目	使用用途
①電気使用量	空調設備、照明機器、サービス工場用コンプレッサー、その他
②都市ガス使用量	空調設備、給湯器など
③LPG(プロパンガス)使用量	空調設備、給湯器など
④ガソリン使用量	社用車ならびに試乗車、販売セールスの借上車など
⑤軽油使用量	車両積載車（セイフティローダー）、部品配送車など
⑥灯油使用量	塗装乾燥施設の燃料、部品洗浄機、暖房器具など

省資源に取組む項目	使用用途
①廃棄物排出量	産業廃棄物、事業系一般廃棄物、その他
②水使用量	水道水の使用（主に洗車作業ならびに手洗いなど）

### <東京・山梨スバルグループ2023年度中期環境経営目標>

取組項目	単位	基準値 (2022年度)	2022年度実績値を現状維持			
			2023年度	2024年度	2025年度	
電気使用量	kWh	5,930,647	5,930,647	5,930,647	5,930,647	
燃料	ガソリン	L	565,876	565,876	565,876	565,876
	灯油	L	7,114	7,114	7,114	7,114
	軽油	L	53,886	53,886	53,886	53,886
	プロパンガス	m3	1,202.0	1,202.0	1,202.0	1,202.0
	都市ガス	m3	337,899	337,899	337,899	337,899
水使用量	m3	41,495	41,495	41,495	41,495	
産業廃棄物	t	937.94	937.94	937.94	937.94	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,479,481	2,479,481	2,479,481	2,479,481	

2023年度の中期環境経営目標計画では、基準年度を2022年度に定めて現状維持に取組みます

環境負荷低減の他、地域とのつながり活性化に向けて、交流活動やパートナーシップ活動も行っております



## 4. 環境経営目標（中期計画、環境負荷の実績状況）

2023年度（期間：2023年4月1日～2024年3月31日）の数値実績に用いた係数・数値

項目	電気	ガソリン	灯油	軽油	LPG	都市ガス
排出係数	下記の表	2.32	2.49	2.58	3.00	2.16

※実績・・・電気の排出係数は、2020年度実績の排出係数で作成しております。

※目標・・・毎年変動するため、目標値は2018年度の排出係数で統一しております。

※ガソリン、灯油、軽油、LPG、都市ガスの値は、それぞれの「排出係数」と「単位発熱量」をかけた値になります。

電気事業者別排出係数（R4年度実績 R5.12.22 環境省・経済産業省公表値）

電気事業社名	出光 グリーンパワー ※2024年度より社名が 出光興産へ変更	東京電力 エナジーパートナー (CO2排出ゼロ電力) 該当:三鷹店、恵比寿店	東京電力 エナジーパートナー (CO2排出電力) 該当 城南店、砧店	CO2フリー 電力導入率
東京スバル	0.000	0.000	0.390	98.4%
山梨スバル		—	—	

判定基準	達成	ほぼ達成	未達成
判定表示	○	△	×
達成・未達成の判定基準値	～99%	100%～114%	115%以上

### <東京・山梨スバルグループ合計>

項目	単位	基準値 2022年度	2023年度の環境負荷の状況				
			目標削減率	実績（結果）	差異	削減率&判定	
電気使用量	kWh	5,930,647		5,979,351	48,704	100.8%	△
燃料	ガソリン	L	565,876	530,657	-35,219	93.8%	○
	灯油	L	7,114	3,286	-3,828	46.2%	○
	軽油	L	53,886	56,290	2,404	104.5%	△
	LPG	m3	1,202	940.0	-262	78.2%	○
	都市ガス	m3	337,899	343,524	5,625	101.7%	△
水使用量	m3	41,495		41,246	-249	99.4%	○
産業廃棄物	t	937.94		904.34	-34	96.4%	○
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,479,481		2,179,852	-299,629	87.9%	○

### <東京スバル合計>

項目	単位	基準値 2022年度	2023年度の環境負荷の状況				
			目標削減率	実績（結果）	差異	削減率&判定	
電気使用量	kWh	5,574,635		5,597,502	22,867	100.4%	△
燃料	ガソリン	L	532,858	500,509	-32,349	93.9%	○
	灯油	L	5,602	1,674	-3,928	29.9%	○
	軽油	L	46,162	48,513	2,351	105.1%	△
	LPG	m3	1,202	940	-262	78.2%	○
	都市ガス	m3	337,899	343,524	5,625	101.7%	△
水使用量	m3	38,562		38,301	-261	99.3%	○
産業廃棄物	t	874.31		835.87	-38.44	95.6%	○
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,343,346		2,085,828	-257,518	89.0%	○

### <山梨スバル合計>

項目	単位	基準値 2022年度	2023年度の環境負荷の状況				
			目標削減率	実績（結果）	差異	削減率&判定	
電気使用量	kWh	356,012		381,849	25,837	107.3%	△
燃料	ガソリン	L	33,018	30,148	-2,870	91.3%	○
	灯油	L	1,512	1,612	100	106.6%	△
	軽油	L	7,724	7,777	53	100.7%	△
	LPG	m3	0.0	0	0	0.0%	○
	都市ガス	m3	0.0	0	0	0.0%	○
水使用量（地下水含）	m3	2,933		2,945	12	100.4%	△
産業廃棄物	t	63.63		68.47	4.84	107.6%	△
二酸化炭素排出量	kg-CO2	136,135		94,024	-42,111	69.1%	○

## 5. 環境経営計画の取組内容、行動評価

環境経営計画	取組内容	評価
本業による 環境負荷 の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「関係性の深いお客様をいかに増やしていくか」「お客様との関係をどうやって深めていくか」ということを今後の会社の取組み（事業活動）の最上位に位置付けとした。</li> <li>・新車、中古車、保険という商品を取扱う部署をひとつに集約、「どうしたらお客様を増やせるのか」を考え、大幅な組織改編を行った（新部署：カスタマーリテンション推進部）</li> <li>・従来の「仕事のやり方を変えて実力を上げる」取組を一部改定、『仕事のやり方を変えて、「もっといいお店づくり」、「人材育成」を促進(強化)』する取組へ変更とした。</li> <li>・従来の重点取組のひとつである「健康」、「安全」、「品質」、「コンプライアンス」を継続。</li> </ul>	○
電気使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出ゼロを目標に電力会社または電力メニューの変更を検討</li> <li>・冷暖房の室温管理（夏季28℃、冬季20℃を目安） ※ショールーム等、お客様目線で不快とならぬように配慮する</li> <li>・クールビズの実施（5月～10月）※気候状況により変更の場合あり</li> <li>・仕事の効率を常に考え、就業時間内に仕事を終わらせる意識付け</li> </ul>	○
燃料使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B Pファクトリー塗装乾燥施設の更新</li> <li>・新車納整センターでガソリンを給油後、店舗へ出荷（給油量の低減を図る）</li> <li>・ハイブリッド空調機器の採用（電気とガスを効率良く使用する）</li> <li>・来店型店舗移行で給油量の低減を目指す。イベントの企画・提案（DM、SNS活用）</li> <li>・アイドリングストップおよびエコドライブ継続的な取組を実施</li> </ul>	○
水道使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水・節電型門型自動車洗車機の優先導入</li> <li>・車体下部洗浄機を導入し、洗浄時間を均一して節水効率を図る</li> <li>・オフィス業務での節水活動と手洗い洗車時の節水配慮</li> <li>・外注先へ節水活動への協力を依頼する</li> <li>・無料洗車サービスの低減（簡易撥水ボディコーティング「NEX」プラスへご提案）</li> </ul>	○
廃棄物 排出量 削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物適正処理管理士3級資格取得(コンプライアンス順守と基礎知識習得)</li> <li>・再生資源化への取組（継続） 金属くず、廃油、廃タイヤ、廃バッテリー、廃ダンボール、雑誌・カタログ類など</li> <li>・業務用シュレッダーを全社に導入、再資源化を促進（古紙専門業者へ引き渡す）</li> <li>・修理で発生する高額な交換部品は、リユースパーツ等を説明しお客様へ提案</li> </ul>	○
化学物質 使用量 削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員の安全を優先に水性塗料100%の導入計画を行う</li> <li>・化学物質取扱量の把握、事故等の防止策の教育を行う</li> <li>・溶剤を取扱う社員への特殊健康診断実施を徹底する</li> <li>・法規制および届出の順守</li> </ul>	○
紙(コピー紙) 削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝票類の印刷ミスや修正作業を減らす努力、コピー削減と裏紙を利用する等</li> <li>・コピー用紙を発注する際は、必要以上に注文をしない（適正な在庫の管理を行う）</li> <li>・セールスにタブレットを貸与、資料確認等を活用し、印刷物低減と業務効率改善</li> <li>・紙申請書類を電子申請システムへ移行し、ペーパーレス化を進める</li> <li>・社内のメールをうまく活用して、印刷物を減らす</li> </ul>	○
社会貢献 活動推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs宣言に向けて各部署よりメンバーを選出、プロジェクトチームを結成してSDGs宣言を実施する（ホームページにSDGs宣言を掲げる）</li> <li>・日本ライフセービング協会、東京都ライフセービング協会にライフセーバーカーを支援</li> <li>・職場体験や職場見学を受入れる</li> <li>・東京都自動車整備振興会主催の新型車を対象としたディーラー別研修会への参加</li> </ul>	○

## 6. 環境経営計画の取組結果、次年度の取組内容

環境経営計画	取組結果	次年度の取組内容
本業による環境負荷の低減	Customer Retention(顧客維持) という意味であり、お客様との関係性を維持して商品・サービスを継続的に利用してもらうための各種施策のことで、①顧客ロイヤリティ向上による顧客の定着、②顧客単価の向上、③新規顧客の獲得を目的として取り組んだ。また、すべての業務で生産性改善を図り、環境負荷低減へ貢献する取組を継続した。	カスタマーリテンション推進部は次年度廃止となったが、今まで取り組んできた「すべての業務で生産性改善を図り、環境負荷低減へ貢献する」を継続。新たな『仕事のやり方を変えて、「もっといいお店づくり」、「人材育成」を更に促進していく。
電気使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵比寿店の電力メニューをCO2 排出ゼロに変更</li> <li>・山梨は全社CO2ゼロ電力済、東京は残り2店舗がCO2排出電力となった</li> <li>・室温管理実施（夏季28℃、冬季20℃目安）</li> <li>・クールビズの実施（5月～10月）</li> <li>・就業時間内に仕事を終わらせる意識付け定着化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京の2店舗はテナント契約であるが、引き続き管理会社へのご理解を求めて電力契約変更の協力依頼を続けていく</li> <li>・室温管理、クールビズは毎年実施して使用量抑制に貢献していく</li> </ul>
燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BPファクトリーの塗装乾燥施設更新を実施</li> <li>・ガソリン使用量(給油量)の目標を達成</li> <li>・高島平店、立川店へハイブリッド空調更新を実施</li> <li>・アイドリングストップおよびエコドライブの継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・灯油を燃料とする塗装乾燥施設が更新となり次年度は灯油の大幅抑制が可能</li> <li>・来店型店舗への移行を更に加速していく</li> <li>・ハイブリッド空調更新は墨田店を計画</li> <li>・外出の際は無駄のないルートを考えて使用量の低減を心掛ける（継続）</li> </ul>
水道使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水・節電型門型自動車洗車機の更新実施</li> <li>・車体下部洗浄機にて節水を実施</li> <li>・外注先への節水活動協力を実施</li> <li>・手洗い洗車時の節水活動の継続</li> <li>・無料洗車サービスの低減、使用量目標を達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京、山梨ともに無料洗車が低減しつつあり、結果として使用量減少となった</li> <li>・次年度も取組を継続して水資源の抑制に貢献していく</li> </ul>
廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物適正処理管理士3級資格の合格（東京：86名、山梨：11名）</li> <li>・業務用シュレッダーを全社導入の結果、本社で集約処分していた溶解書類が半分へ減少した</li> <li>・リユースパーツの説明と提案を継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国スバルグループで行っている産業廃棄物適正処理管理士3級資格取得者を増やしていく</li> <li>・再生資源化の継続取組</li> </ul>
化学物質使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の導入率は約70%の推移であった</li> <li>・塗装表面のクリアー塗装水性化は現実的には難しく、100%採用はまだ先の見通しとなった</li> <li>・事故等の防止策の教育を定期的実施</li> <li>・特殊健康診断の受診対象者は100%実施</li> <li>・法規制順守および各種届出全数実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリアー塗装の水性化については、塗料メーカーや他特約店からの情報を収集し実現化を進めていく</li> <li>・法規制順守と届出は洩れなく実施する</li> </ul>
紙(コピー紙)削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証取得時からの裏書再利用の取組継続</li> <li>・コピー用紙を発注する際は在庫を確認した</li> <li>・電子申請システムへ新規申請書を追加した</li> <li>・社内メール、イントラを活用して印刷物を減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内のメールやイントラの利用環境は整えたがまだまだ利用しない者がおり、IT関連に強くなれるように教育を進める</li> <li>・電子申請システムの利用拡大を図る</li> </ul>
社会貢献活動推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs宣言をホームページに開設</li> <li>・ライフセーバーカー2台を7月に納車式を開催</li> <li>・職場体験実施（東村山店、調布店、国分寺店）</li> <li>・今年度のディーラー別研修会は中止となった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業活動がSDGsの取組に貢献しているという認識を向上させていくのが課題</li> <li>・次年度もライフセーバーカー支援を継続していく(全国スバルグループの取組)</li> <li>・職場体験は随時受入れていく</li> <li>・ディーラー別研修会の参加</li> </ul>

## 7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

### (1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規	要求事項	東京スバル	山梨スバル
エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネルギー法）	・定期報告書、中長期計画書の届出、エネルギー削減義務 ・エネルギー管理講習の受講及び終了証の取得	○	/
水質汚濁防止法	特定施設の届出、事故時に公共用水域へ油を含む水、または生活環境規制基準を超える水を排出した場合に適用される	○	○
下水道法	特定施設の届出、排水施設の設置義務	○	○
浄化槽法	設置の届出、定期的な保守点検及び清掃と水質検査	/	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、廃棄物処理業者との委託契約、廃棄物の表示及び保管管理、マニフェストの適正運用管理、マニフェスト交付状況年度報告	○	○
消防法	・少量危険物貯蔵所の届出と油脂類の適正管理 ・適用となる店舗は防火管理者の資格と届出を行う	○	○
労働安全衛生法	安全衛生委員会の設置、健康障害防止措置と社内教育 化学物質を扱う社員の特殊検診の実施と作業環境測定等	○	○
騒音規制法	・特定施設の届出（基準を超える空気圧縮機等） ・指定地域内の事業場等に特定施設を設置する場合、設置工事開始の30日前までに市町村長に届出ること	/	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	定められた基準（床面積）を超える建築物の新築または増築、解体工事を行なう場合、建設発注者は7日前に知事へ届出を行う	○	○
化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）	該当化学物質の年間排出量・移動量の把握（対象物質が基準値以上の場合には報告）	○	○
P C B 廃棄物特措法（PCB=ポリ塩化ビフェニル）	・特別管理産業廃棄物管理者取得および届出 ・PCB廃棄物の届出と適正な処理と保管および処分	○	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	・第一種特定製品の簡易点検ならびに法令点検（定期点検）の実施 ・点検や修理をしないまま充填を繰り返すこと（繰り返し充填）の禁止 ・一定量以上のフロンの漏れがある場合、算出されたフロンの漏れ量を所管する大臣に報告	○	○
使用済み自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	引取事業者の登録、使用済み自動車の適正処理	○	○
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	対象機器の再商品化等が確実に実施されるよう小売業者等に適切に引き渡す、収集・再商品化等に関する料金（リサイクル料金）を支払う	○	○
東京都及び山梨県の環境に関する条例（環境確保条例）	・工場設置認可届出 ・適正管理化学物質の使用量等報告 ・特別管理産業廃棄物管理者の選任と届出	○	○
東京都及び山梨県の廃棄物条例	廃棄物の発生抑制、再利用の促進と再資源化に向けた取組み、適正な処理、事業系廃棄物の減量等	○	○
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	自動車等のアイドリングストップ（駐車場に励行の表示を行う）	○	/
山梨県生活環境の保全に関する条例施行規則	・有害物質を含む汚水の地下浸透の禁止 ・排出される水による水質の汚濁を防止するように努める ・自動車等のアイドリングストップ（駐車場に励行の表示を行う）	/	○

### (2) 違反、訴訟等

両社における環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

## 8. 経営における課題とチャンス 代表者による全体の評価と見直し

### 経営における課題とチャンス

課題とチャンス	事業者の内部に起因するもの	事業者の外部に起因するもの
経営における課題 (事業上の弱み、問題点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新技術、新機構に伴う品質問題が顕在化していること</li> <li>・メカニックの人材が困難になってきていること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化による市場の縮小</li> <li>・車の電動化が進展してきていること</li> </ul>
経営におけるチャンス (事業上の強み、有利な点等)	仕事のやり方を変えて、効率化、生産性向上及びより高度な付加価値の提供が出来るようになったこと	繋がりの強いお客様が多数いること

### 代表者による全体の評価と見直し

仕事のやり方を変えて実力を上げる、効率化と生産性向上とお客様への付加価値の提供へ取り組み、今年度は新たに「もっといいお店づくり」と「人材育成」を促進するように取り組んだ結果、成果が表れてきた。

環境負荷では、大幅なエネルギーの増加はなく目標に掲げた現状維持を達成した。  
二酸化炭素総排出量においては、新たにCO<sub>2</sub>フリー電力を採用し、グループ全体の98.4%まで拡大した。  
東京・山梨と共に大幅な環境負荷の低減に貢献することが出来た。

毎年行われる審査では、各店舗の審査で「お客様とのつながり、業務の平準化、整備の品質向上、作業時間など」について取り組んでいることを審査員より報告を受け経営と環境が結びついているのを感じた。

次年度も環境経営方針の基本理念に基づいて「全社員が自主的に業務の効率化に向けた行動により、地球環境への負荷を低減し、地球に優しい環境が持続出来るように経営のあらゆる面で環境に配慮して行動していく。

## 9. ライフセーバーカー支援、東京スバルRacingTeamのご紹介



東京スバルは、フォレスターの  
ライフセーバーカーを2台提供しています。

「2030年、死亡交通事故ゼロ\*」を目指すSUBARUは、公益財団法人日本ライフセービング協会（東京都港区／入谷拓哉理事長）の「水辺の事故ゼロ」という想いに共感し、活動をサポートするために、オフィシャルパートナーとして、ライフセーバーカーを提供しています。

### 2023年8月「新島」現地取材レポート

今年から東京都の諸島部における活動をサポートするために、一般社団法人東京都ライフセービング協会にもライフセーバーカーの提供を行っています。今回はライフセーバーカーを納車した「新島」でライフセーバーの皆様の活動について現地取材を行ったレポートをお届けします。

新島には救急車がなく、海辺で事故やトラブルがあった際には、ライフセーバーカーが駆けつけ、本島から救急車が来るまでの間、応急処置のサポートを行っているとのことでした。医師がいない場所もあるので、そもそも事故・怪我が起きないように努めるというライフセーバーの姿勢は、SUBARUの安全思想にもつながります。



ライフセーバーカーが海水浴場に駐車されている事で、海水浴客もそのビーチで安心して泳ぐことができるかの判断材料になるとのお話を現地でも伺い、島民や海水浴の方々にとって、ライフセーバーの存在が、安心と楽しさにつながっていることを実感しました。

## 9. ライフセーバーカー支援、東京スバルRacingTeamのご紹介

ライフセーバーの皆様からのコメント



自分の泳ぐ力を誰かのために使いたい、子供たちに水辺の楽しさを伝えていきたいとずっと思っていたのですが、日本ライフセービング協会が掲げている「誰かのために」というスローガンに胸を打たれて、ライフセーバーになろうと決めました。

人命救助は一発勝負！経験年数は関係なく、水辺の事故を未然に防ぐこと、できることを日々懸命に考え、海水浴を愉しんでもらうことが私の使命です。

1年目でもベテランでもこのライフセーバー服を着ていれば、お客様からはレスキューのプロとして見られている覚悟を常に持っています。ダメなことを伝えるだけでなく、そのビーチでの楽しさを伝えることも大切な業務です。



私たち東京スバルもSUBARUを通じて、安心と愉しさをつなげていく役割を担っています。水辺の安全を守るライフセーバーの皆様活動に触れ、いのちを守るプロとしてお客様との架け橋となれるよう、気持ちを新たに様々な活動に取り組んで行きたいと思えます。



## 9. ライフセーバーカー支援、東京スバルRacingTeamのご紹介

### 2023年7月 ライフセーバーカー納車式

東京スバルは、昨年に引き続き、  
日本ライフセービング協会へ提供させていただくとともに、  
今年から東京都の諸島部における活動をサポートするために  
一般社団法人 東京都ライフセービング協会にも提供させていただき  
2023年7月3日にフォレスター2台の納車式を執り行いました。

\*SUBARU車乗車中の死亡事故およびSUBARU車との衝突による歩行者・自転車等の死亡事故ゼロを目指す。



東京スバルでは、日頃より一つのいのちに寄り添い、  
一台一台の安全を徹底的に磨き上げることに取り組んでおります。  
同じく、一つのいのちに寄り添う、日本ライフセービング協会様と協力し、  
今年の夏は、東京都の新島を中心とした諸島部でも  
フォレスターのライフセーバーカーが「一つのいのち」に寄り添い、  
水辺の安全を守ります！！



2024年度も東京スバルは、フォレスターの  
ライフセーバーカーを2台提供いたします

## 9. ライフセーバーカー支援、東京スバルRacingTeamのご紹介

「東京スバル x 千葉スバル x TEAM TAKUTY」 発進

2023年GR86/BRZ CUPシリーズに、東京スバル、千葉スバルと井口卓人率いるTEAM TAKUTYがチームを編成し、プロフェッショナルクラスに2台体制で参戦し、**結成初年度でシリーズチャンピオンを獲得しました！**

開催日	開催サーキット	順位 予選/決勝
2023.05.14	第1戦 スポーツランドSUGO	予選5位/決勝3位
2023.06.13	第2戦 オートポリス	予選3位/決勝1位
2023.07.23	第3戦 モビリティリゾートもてぎ	予選6位/決勝3位
2023.08.21	第4戦 十勝スピードウェイ	予選10位/決勝6位
2023.09.11	第5戦 岡山国際サーキット	予選3位/決勝4位
2023.10.29	第6戦 鈴鹿サーキット	予選8位/決勝4位
2023.11.26	第7戦 富士スピードウェイ	予選17位/決勝リタイア

**2023 Point Standings**

順位	ドライバー	ポイント
1	井口卓人 (TEAM TAKUTY)	117
2	...	...
17	...	...



2024年はゼッケンナンバー 1でGR86/BRZ CUPに参戦します  
応援をよろしくお願いいたします！



2024年3月11日 (月)  
三鷹店2階会議室・STIギャラリーにて  
東京スバルレーシング2024体制発表会  
が行なわれました。

# Thank You!

